

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	長瀬町	代表者名	大澤 タキ江
担当者部署	産業観光課	連絡先電話番号	0494-66-3111
担当者役職	主事	担当者氏名	浅見 周
住所	369-1392 埼玉県長瀬町大字本野上1035番地1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	座学だけではなく、実際に参加者各々が体験し、経験するという方針は非常に良かった。また一緒に楽しみましょう！というスタンスであったため参加者が打ち解けやすく、体験会後には参加者から長瀬町ではこうしてみたい！というような意見がでるなどとても好評であったため。
アドバイザーへの要望事項	名札などつけてあるとより接しやすいかと思います。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	2024年2月5日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	16時00分	60
			活動時間（分）	360	
3-2. 派遣場所	会場名	長瀬町役場	最寄駅	秩父鉄道野上駅	
	所在地	埼玉県秩父郡長瀬町大字本野上1035番地1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	役場職員、町議会議員、町内事業者（元地域おこし協力隊）、鉄道事業者	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	町の観光スポットのマンネリ化により、リピーター客の獲得と新たな観光客層の開拓が現状できていない現状にある。 長瀬駅周辺に観光客が集中してしまい、町内にある別エリアへの観光流動ができておらず、観光事業者の意識の差や別エリアの将来的展望が課題となっていることから町全域での周遊観光促進が求められている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品の企画、開発を実施することで宝登山エリアや上長瀬エリア、野上エリアをはじめとした町内各エリアの新たな魅力を再発掘し、国内外を対象に新たな長瀬観光を展開する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	「周遊型観光体験商品」について理解を深めるため、周遊型の観光体験商品の企画に関する体験会と講義の講師を行っていただいた。 1日目の参加者は行政視点で意見を集約するため、長瀬町役場産業観光課職員をはじめ、町議会議員、町内事業者（元地域おこし協力隊）、鉄道事業者というメンバーで実施した。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	長瀬町での周遊観光という点では、今までスタンプラリーや他地域でも積極的に開催されているクイズラリーなどを過去に実施した経緯はあるものの、集客や知名度に伸び悩んでいたことから、今回の支援で新たな切り口を見つけられたと感じている。	



具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	②事業に係るシステムを構築できた
	今後どのような流れで進めればよいかについて、アドバイザーと人脈形成ができただけでも大きな進歩となった。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	改善・解決されなかった内容はありません。 今後、最終的な目標でもある周遊型観光体験商品とICTをどのように活用していくかを調整を図る。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アドバイザーが示した周遊観光体験商品の説明を受けて「地域への導入は可能か」というアンケートによれば、長瀬町内でも大いに活用できる内容である、長瀬の定番エリア以外にスポットを当てるチャンスである、周遊効果に期待できる、といった前向きな意見が多く見られた一方で、取り組み対しては賛同するが、きちんと集客ができるのかが不安といったこともあげられたことから、町内事業者への説明はさらに必要であると感じた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	町内周遊観光実現のため、ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品を企画・開発を行う。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

